

2025年度 第3四半期決算報告



挑戦の先に答えはある。

ZEON

2026年1月30日
日本ゼオン株式会社

P.2	総括	※以降、シクロオレフィンポリマーはCOPと記載します。
P.5	事業環境（為替・主原料推移）	
P.6	業績サマリー	
P.9	高機能材料	P/L
P.10	高機能材料	セグメント別概況
P.11	高機能樹脂事業	：COPの状況
P.12	高機能樹脂事業	：光学フィルムの状況
P.13	高機能バインダー材料事業	：電池材料の状況
P.14	高機能ケミカル事業	：化学品・電子材料の状況
P.16	エラストマー素材	P/L
P.17	エラストマー素材	セグメント別概況
P.18	エラストマー素材	：合成ゴムの状況
P.20	B/S概要	
P.21	C/F概要	
P.23	2025年度 業績予想	
P.26	2025年度 株主還元予想	

2025年度通期予想

売上高
4,075億円
YoY▲3%

営業利益
310億円
YoY+6%

経常利益
340億円
YoY +3%

親会社株主に帰属
する当期純利益
315億円
YoY+20%

▶ 当社の見通し

- ・業績予想を上方修正
- ・高機能材料は電池材料、光学フィルム堅調により売上高、営業利益ともに上方修正、エラストマー素材は原料価格動向を踏まえ売上高を下方修正、為替円安を踏まえ営業利益を上方修正（アジアブタジエン Q3実績:US\$875/MT、Q4前提:US\$950/MT）
- ・経常利益は為替円安により、また当期純利益は特別損益の精査の結果、上方修正

2025年度株主還元

配当額
72円/年

自己株式の取得
2025年度
1,000万株/100億円

- ▶ 配当金は年間72円を据え置く
- ▶ 自己株式の取得は1,000万株/100億円を上限に実施完了

2025年度Q1-Q3連結実績

売上高
3,097億円
YoY▲2%

営業利益
276億円
YoY+14%

経常利益
300億円
YoY+10%

親会社株主に帰属
する当期純利益
283億円
YoY+41%

▶ 増減の主要因

売上高：高機能材料は大型フィルムおよび電池材料の出荷増により増加

エラストマー素材は原料価格下落による販売価格下落により減少

営業利益：大型フィルムおよび電池材料の出荷増、化成品の販売価格改定により増加

経常利益：同上、ただし9カ月累計比較では為替円高による為替差損の発生により、利益を押し下げる

当期純利益：投資有価証券売却益が増加

2025年度Q3連結実績

売上高
1,032億円
QoQ 0%

営業利益
82億円
QoQ+14%

経常利益
108億円
QoQ+51%

親会社株主に帰属
する当期純利益
60億円
QoQ▲59%

▶ 増減の主要因

売上高：高機能材料は中小型フィルムおよびEV向け電池材料の出荷減により減少

エラストマー素材は海外向け出荷増および為替円安により増加

営業利益：エラストマー素材および化学品の出荷増により増加

経常利益：同上、ただしQ3為替円安による為替差益の発生により、利益を押し上げる

当期純利益：投資有価証券売却益がQ2に集中

P.2

総括

P.5

事業環境（為替・主原料推移）

P.6

業績サマリー

P.9

高機能材料

P/L

P.10

高機能材料

セグメント別概況

P.11

高機能樹脂事業

：COPの状況

P.12

高機能樹脂事業

：光学フィルムの状況

P.13

高機能バインダー材料事業

：電池材料の状況

P.14

高機能ケミカル事業

：化学品・電子材料の状況

P.16

エラストマー素材 P/L

P.17

エラストマー素材 セグメント別概況

P.18

エラストマー素材：合成ゴムの状況

P.20

B/S概要

P.21

C/F概要

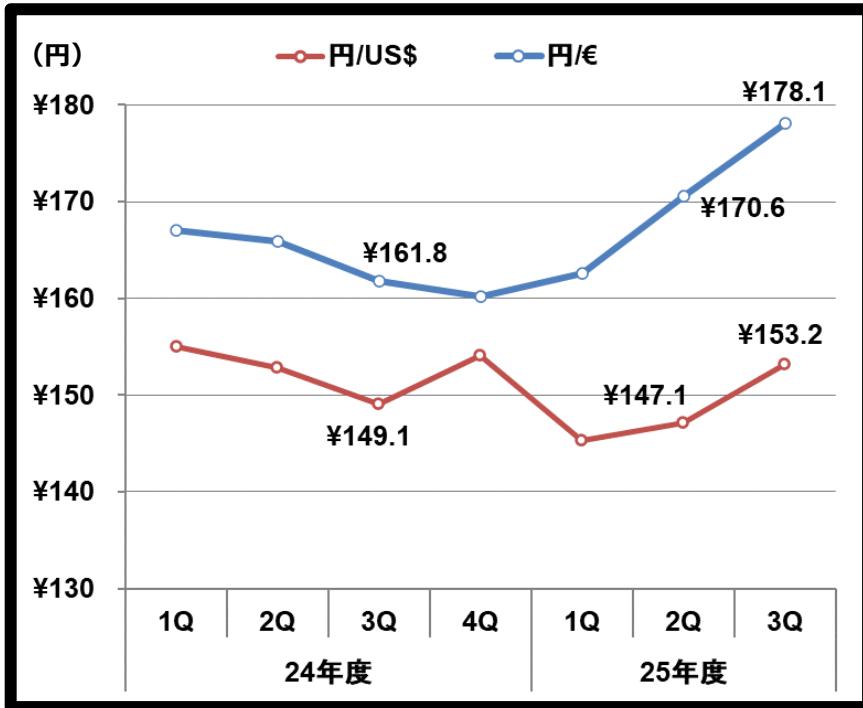
P.23

2025年度 業績予想

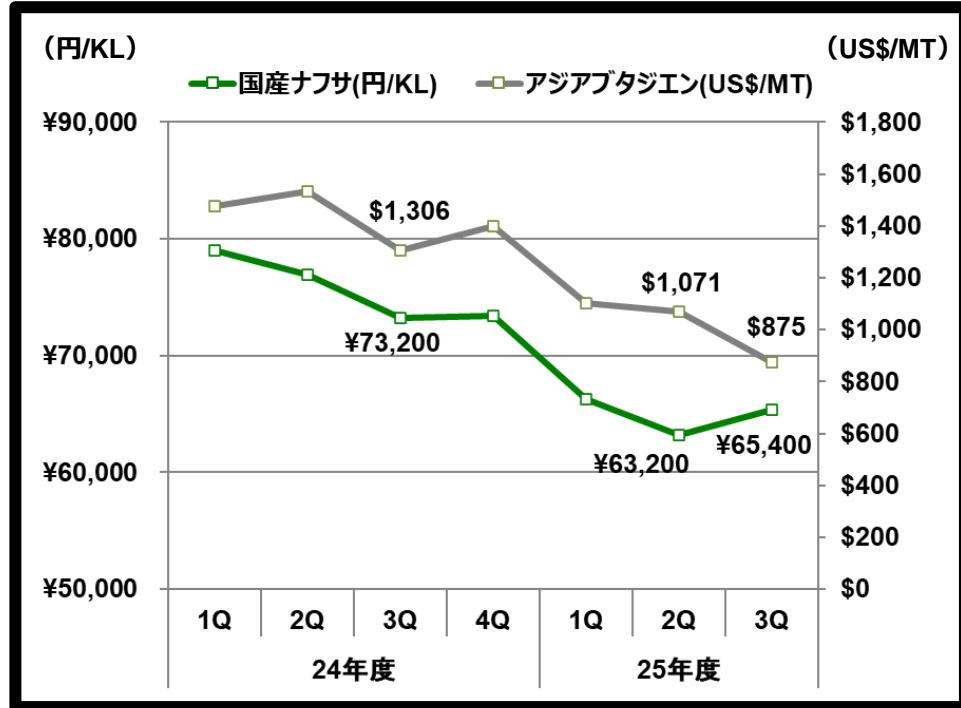
P.26

2025年度 株主還元予想

【為替推移】



【主原料推移】



		2024年度 Q3	2025年度 Q2	2025年度 Q3	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥149.1	¥147.1	¥153.2	+3%	+4%
	円/€	¥161.8	¥170.6	¥178.1	+10%	+4%
主原料	国産ナフサ/KL	¥73,200	¥63,200	¥65,400	▲11%	+3%
	アジアブタジエン/MT	\$1,306	\$1,071	\$875	▲33%	▲18%

※国産ナフサ: 2024年度Q3 及び 2025年度Q2 は確報値、2025年度Q3 は当社見込値

2025年度Q3 業績サマリー (全体)

ZEON

(単位: 億円)

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2024年度 Q3累計	2025年度 Q3累計	対前年度
	2024年度 Q3	2025年度 Q2	2025年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減			YoY 増減
売上高	1,021	1,034	1,032	+12	▲1	3,154	3,097	▲57
営業利益	74	72	82	+9	+10	242	276	+34
経常利益	88	72	108	+20	+37	274	300	+26
当期純利益	78	148	60	▲18	▲88	201	283	+82

- **前年同期比** : 売上高 +12億円、営業利益 +9億円
- **前期比** : 売上高 ▲1億円、営業利益 +10億円
- **前年度比** : 売上高 ▲57億円、営業利益 +34億円

*海外関係会社の2025年7~9月実績がQ3連結決算に反映されています。
2025年度より Zeon Korea Co., Ltd. が連結対象となりました。

2025年度Q3 業績サマリー (セグメント別)

ZEON

(単位: 億円)

【売上高】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2024年度 Q3累計	2025年度 Q3累計	対前年度
	2024年度 Q3	2025年度 Q2	2025年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減			YoY 増減
高機能材料	286	330	315	+30	▲15	901	939	+37
エラストマー素材	578	545	554	▲24	+10	1,785	1,680	▲ 105
その他の事業、消去等	157	159	163	+5	+4	469	479	+10
売上高合計	1,021	1,034	1,032	+12	▲1	3,154	3,097	▲ 57
【営業利益】	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2024年度 Q3累計	2025年度 Q3累計	対前年度
	2024年度 Q3	2025年度 Q2	2025年度 Q3	YoY 増減	QoQ 増減			YoY 増減
高機能材料	37	43	48	+11	+5	145	166	+21
エラストマー素材	29	23	29	▲0	+7	90	94	+5
その他の事業、消去等	7	6	5	▲2	▲1	7	16	+9
営業利益合計	74	72	82	+9	+10	242	276	+34

P.2

総括

P.5

事業環境（為替・主原料推移）

P.6

業績サマリー

P.9

高機能材料

P/L

P.10

高機能材料

セグメント別概況

P.11

高機能樹脂事業

：COPの状況

P.12

高機能樹脂事業

：光学フィルムの状況

P.13

高機能バインダー材料事業

：電池材料の状況

P.14

高機能ケミカル事業

：化学品・電子材料の状況

P.16

エラストマー素材 P/L

P.17

エラストマー素材 セグメント別概況

P.18

エラストマー素材：合成ゴムの状況

P.20

B/S概要

P.21

C/F概要

P.23

2025年度 業績予想

P.26

2025年度 株主還元予想

(単位：億円)

	2024年度 Q3	2025年度 Q2	2025年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	286	330	315	30	10 %	▲ 15	▲ 4 %
高機能樹脂	187	231	213	26	14 %	▲ 18	▲ 8 %
高機能バインダー材料	52	63	58	7	13 %	▲ 4	▲ 7 %
高機能ケミカル	37	32	37	▲ 0	▲ 0 %	5	17 %
メディカル他	10	4	7	▲ 3	▲ 27 %	3	57 %
営業利益	37	43	48	11	31 %	5	11 %
高機能樹脂	20	39	37	18	90 %	▲ 2	▲ 4 %
高機能バインダー材料	8	12	8	1	8 %	▲ 3	▲ 28 %
高機能ケミカル	10	▲ 1	7	▲ 4	▲ 35 %	8	- %
メディカル他	▲ 1	▲ 6	▲ 4	▲ 3	- %	2	- %
営業利益率	13%	13%	15%				

サブセグメント区分

高機能樹脂
高機能バインダー材料
高機能ケミカル

: COP、光学フィルム
: 電池材料、トナー
: 化学品、電子材料

高機能材料

売上高 **315** 億円 (YoY+10%、QoQ ▲4%)

営業利益 **48** 億円 (YoY+31%、QoQ+11%)

高機能樹脂

売上高 **213** 億円 (YoY+14%、QoQ ▲8%)

営業利益 **37** 億円 (YoY+90%、QoQ ▲4%)

■ YoY

大型フィルムの出荷増により増収増益
前年同期に水島工場1系列不具合による損失が発生していたため、利益は大幅に増加

■ QoQ

中小型フィルムが出荷端境期となり出荷減、COPで12月にまとめ出荷を実施したが、
業績計上は次期以降となり減収減益、光学フィルムで棚卸資産関連費用が発生

高機能 バインダー材料

売上高 **58** 億円 (YoY+13%、QoQ ▲7%)

営業利益 **8** 億円 (YoY+8%、QoQ ▲28%)

■ YoY

電池材料の出荷増、生産増により固定費単価が良化し増収増益

■ QoQ

中国一部電池メーカーでEV向け在庫調整が発生し、減収減益

高機能ケミカル

売上高 **37** 億円 (YoY 0%、QoQ+17%)

営業利益 **7** 億円 (YoY ▲35%、QoQ +8億円)

■ YoY

合成香料市場の需給緩和状態は長期化し、YoYは売上高横ばい、市況価格は低迷し減益

■ QoQ

出荷増および棚卸資産関連費用等の減少により増収増益

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-12月)
連結売上高	➡	➡	➡
当社製品の販売動向	➡	➡	➡
	➡	➡	➡
	➡	➡	➡

■ 光学用途向け

中国のスマホ向け補助金満了による需要一服

■ 医療その他向け

一部顧客の在庫調整は完了し、出荷は大幅増

■ 半導体用途向け

Q3は調整が続くもQ4まとめ出荷により、対前年度で出荷増の見込

		YoY	QoQ	YoY累計 (4-12月)
連結売上高		↗	↖	↗
当社製品の 販売動向	中小型向け	→	↖	↖
	大型向け	↗	↗	↗

■ 中小型向け

タブレット向け、スマホ向けともに出荷端境期に入り、需要は一服

25年モデル向け生産が24/4Qから始まり、一部出荷が前年度に前倒しされたため、
YoY累計は微減

■ 大型向け

大型TV向けシェア拡大により、総じて需要は堅調

		YoY	QoQ	YoY累計 (4-12月)
連結売上高		↑	↑	↑
当社製品の 販売動向	EV向け	↓	↓	↓
	ESS・民生他向け	↑	↑	↑

■ EV向け

中国の2026年補助金政策が不透明であったため、一部電池メーカーで在庫調整が発生し出荷減

■ ESS・民生他向け

AIデータセンター向けESSへの採用が拡大、モバイル端末向けも堅調

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-12月)
連結売上高	➡	↑	➡
当社製品の 販売動向	➡	↑	➡
	➡	↑	➡

■ 半導体・医療向け

旺盛な AI 関連投資を背景にメモリーや一部ロジック製品の需要は堅調

■ 合成香料向け

合成香料市場の需給緩和状態は長期化し、市況価格も低迷

一部製品の原料を半導体・医療向けに組み換えたことにより出荷減

P.2	総括
P.5	事業環境（為替・主原料推移）
P.6	業績サマリー
P.9	高機能材料 P/L
P.10	高機能材料 セグメント別概況
P.11	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.12	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.13	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.14	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.16	エラストマー素材 P/L
P.17	エラストマー素材 セグメント別概況
P.18	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.23	2025年度 業績予想
P.26	2025年度 株主還元予想

(単位：億円)

	2024年度 Q3	2025年度 Q2	2025年度 Q3	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (24/Q3=100)	100	94	97	▲ 3 pt	▲ 3 %	3 pt	3 %
合成ゴム	100	96	107	7 pt	7 %	11 pt	11 %
ラテックス	100	81	65	▲ 35 pt	▲ 35 %	▲ 16 pt	▲ 20 %
化成品	100	99	92	▲ 8 pt	▲ 8 %	▲ 7 pt	▲ 8 %
売上高	578	545	554	▲ 24	▲ 4 %	10	2 %
合成ゴム	436	424	431	▲ 5	▲ 1 %	7	2 %
ラテックス	35	27	24	▲ 11	▲ 30 %	▲ 2	▲ 9 %
化成品	96	86	87	▲ 9	▲ 10 %	1	1 %
その他・消去	11	8	12	1	9 %	4	43 %
営業利益	29	23	29	▲ 0	▲ 1 %	7	29 %
営業利益率	5%	4%	5%				

エラストマー素材

売上高 **554** 億円 (YoY▲4%、QoQ+2%)

営業利益 **29** 億円 (YoY▲1%、QoQ+29%)

合成ゴム

売上高 **431** 億円 (YoY▲1%、QoQ+2%)

■ YoY、QoQ

原料価格下落により販売価格は下落するも、汎用ゴムの出荷増および為替円安によりほぼ横ばい、QoQは増益

合成ラテックス

売上高 **24** 億円 (YoY▲30%、QoQ▲9%)

■ YoY、QoQ

医療・衛生用手袋の需給緩和状態の長期化により減収となるも、販管費減より増益

化成品

売上高 **87** 億円 (YoY▲10%、QoQ+1%)

■ YoY、QoQ

粘着テープ・ラベル向けの需要の減退により、YoYは減収減益、QoQは為替円安および原料価格の下落により増収増益

	YoY	QoQ	YoY累計 (4-12月)
連結売上高	99%	102%	97%
当社製品の 販売動向	特殊ゴム	↗	↗
	汎用ゴム	↗	↗

■ 特殊ゴム

国内、海外向けともに、総じて出荷は堅調

■ 汎用ゴム

中国を中心に市況は低調となるも、海外向けにドライブをかけ、
YoY、QoQともに出荷増

- P.2 総括
- P.5 事業環境（為替・主原料推移）
- P.6 業績サマリー
- P.9 高機能材料 P/L
- P.10 高機能材料 セグメント別概況
- P.11 高機能樹脂事業 : COPの状況
- P.12 高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
- P.13 高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
- P.14 高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
- P.16 エラストマー素材 P/L
- P.17 エラストマー素材 セグメント別概況
- P.18 エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
- P.20 B/S概要
- P.21 C/F概要
- P.23 2025年度 業績予想
- P.26 2025年度 株主還元予想

(単位：億円)

総資産5,503億円 (+165)

【流動資産】	▲183億円
◆現預金	+91億円
◆売掛債権	▲139億円
◆未収入金	+39億円
◆棚卸資産	▲183億円

流動資産
2,799
(▲183)

固定資産
2,704
(+348)

【固定資産】	+348億円
◆有形固定資産	+376億円
◆投資有価証券	▲9億円

【流動負債】	+110億円
◆買入債務	+56億円
◆コマーシャルペーパー	▲170億円
◆未払金等	+224億円

流動負債
1,631
(+110)

固定負債 247 (+9)

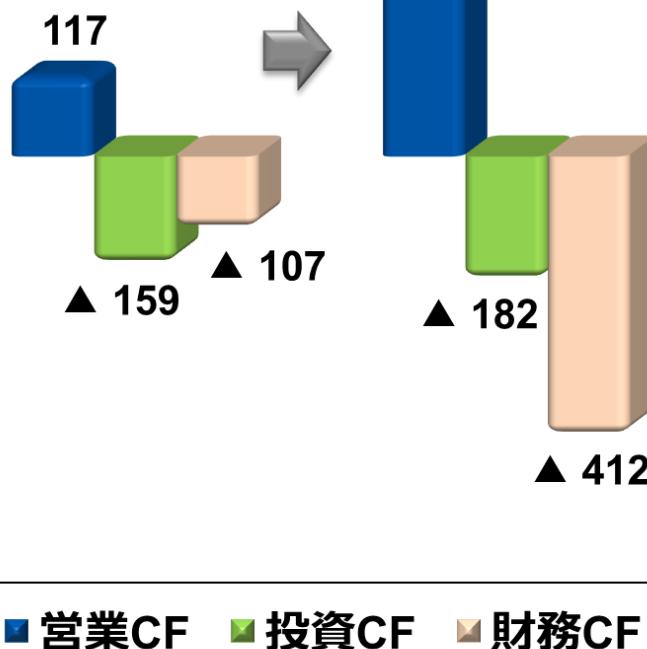
純資産
3,626
(+46)

【純資産】	+46億円
◆自己資本比率	65.7% (▲1.2)
◆D/Eレシオ	0.02 (▲0.05)

(単位：億円)

2024年度Q3

2025年度Q3



(単位：億円)

	2024年度Q3	2025年度Q3
営業CF	117	688
投資CF	▲ 159	▲ 182
フリーカッシュフロー (FY-CF)	▲ 42	506
財務CF	▲ 107	▲ 412
CF	▲ 135	82

【営業CF】

- ◆ 税前利益 +136億円
- ◆ 税金 +56億円
- ◆ 減価償却費 ▲12億円
- ◆ 運転資金 +528億円
- ◆ 引当金 ▲36億円
- ◆ 投資有価証券売却益 ▲115億円
- ◆ その他 +14億円

【財務CF】

- ◆ 資金調達 ▲450億円
- ◆ 配当金 ▲12億円
- ◆ 自己株式取得・信託設定 +148億円
- ◆ その他 +9億円

P.2	総括
P.5	事業環境（為替・主原料推移）
P.6	業績サマリー
P.9	高機能材料 P/L
P.10	高機能材料 セグメント別概況
P.11	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.12	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.13	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.14	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.16	エラストマー素材 P/L
P.17	エラストマー素材 セグメント別概況
P.18	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.23	2025年度 業績予想
P.26	2025年度 株主還元予想

(単位：億円)

【売上高】	業績予想 (25/10/30時点)	修正業績予想 (26/1/30時点)	年間 差異
高機能材料	1,225	1,240	+15
エラストマー素材	2,265	2,195	▲ 70
その他の事業、消去等	660	640	▲ 20
売上高合計	4,150	4,075	▲ 75

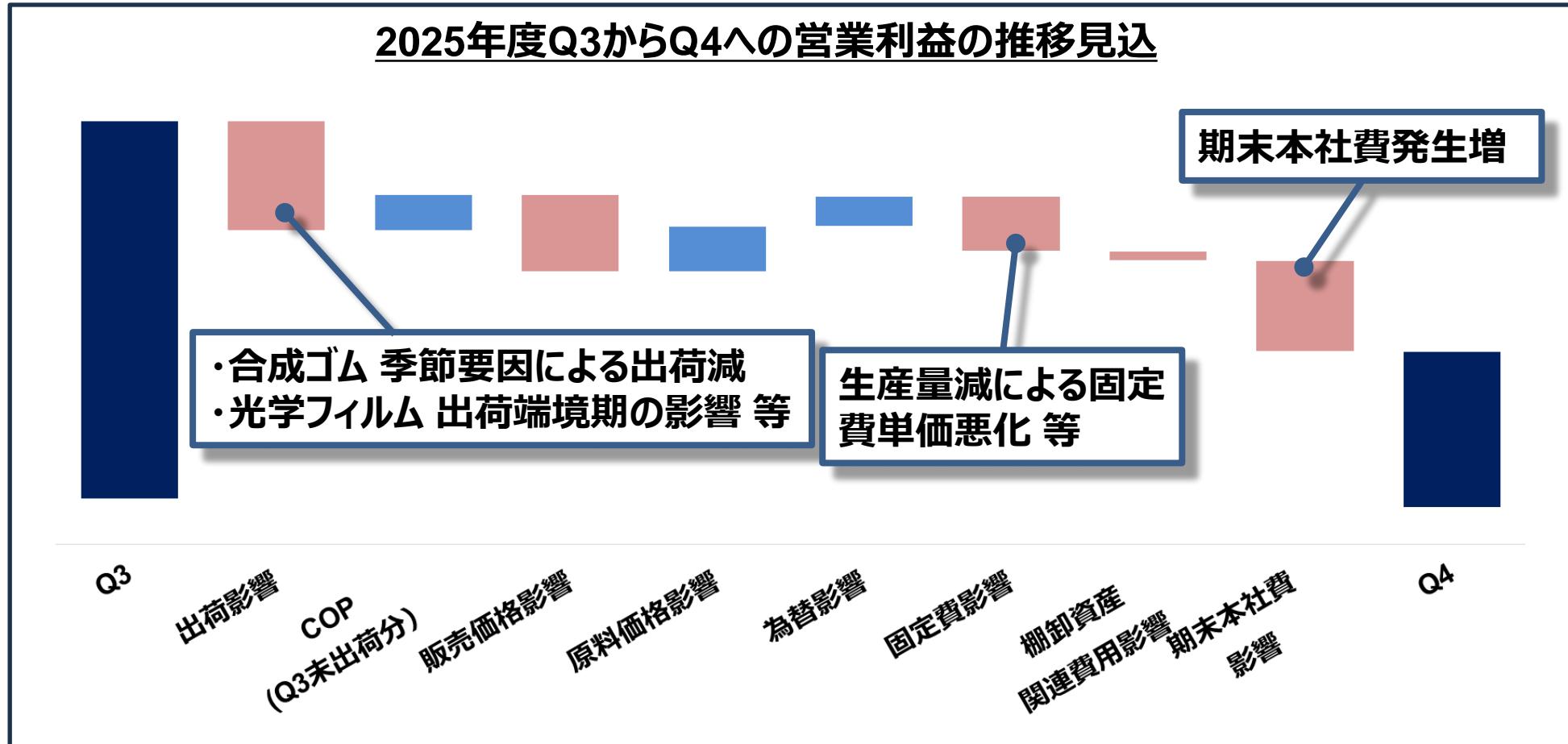
【営業利益】	業績予想 (25/10/30時点)	修正業績予想 (26/1/30時点)	年間 差異
高機能材料	200	205	+5
エラストマー素材	85	90	+5
その他の事業、消去等	20	15	▲ 5
営業利益合計	305	310	+5

- ・10/30予想前提：US\$=149円、€=175円、国産ナフサ/KL=¥65,000、アジアブタジエン/MT=US\$1,000
- ・1/30予想前提：US\$=155円、€=180円、国産ナフサ/KL=¥63,000、アジアブタジエン/MT=US\$950
- ・営業利益への為替影響（年間）は、1円/US\$：約3億円、1円/€：約2億円、円安により増加

(単位: 億円)

* 水色が増加、 桃色が減少

2025年度Q3からQ4への営業利益の推移見込



*増減影響の幅はイメージ図

- 出荷減の主要因は、合成ゴムの季節要因および中小型フィルムの出荷端境期の影響等
- 出荷減に伴う生産量減により固定費単価は悪化
- Q4は期末検収増により、本社費が増加

P.2	総括
P.5	事業環境（為替・主原料推移）
P.6	業績サマリー
P.9	高機能材料 P/L
P.10	高機能材料 セグメント別概況
P.11	高機能樹脂事業 : COPの状況
P.12	高機能樹脂事業 : 光学フィルムの状況
P.13	高機能バインダー材料事業 : 電池材料の状況
P.14	高機能ケミカル事業 : 化学品・電子材料の状況
P.16	エラストマー素材 P/L
P.17	エラストマー素材 セグメント別概況
P.18	エラストマー素材 : 合成ゴムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.23	2025年度 業績予想
P.26	2025年度 株主還元予想

株主還元方針

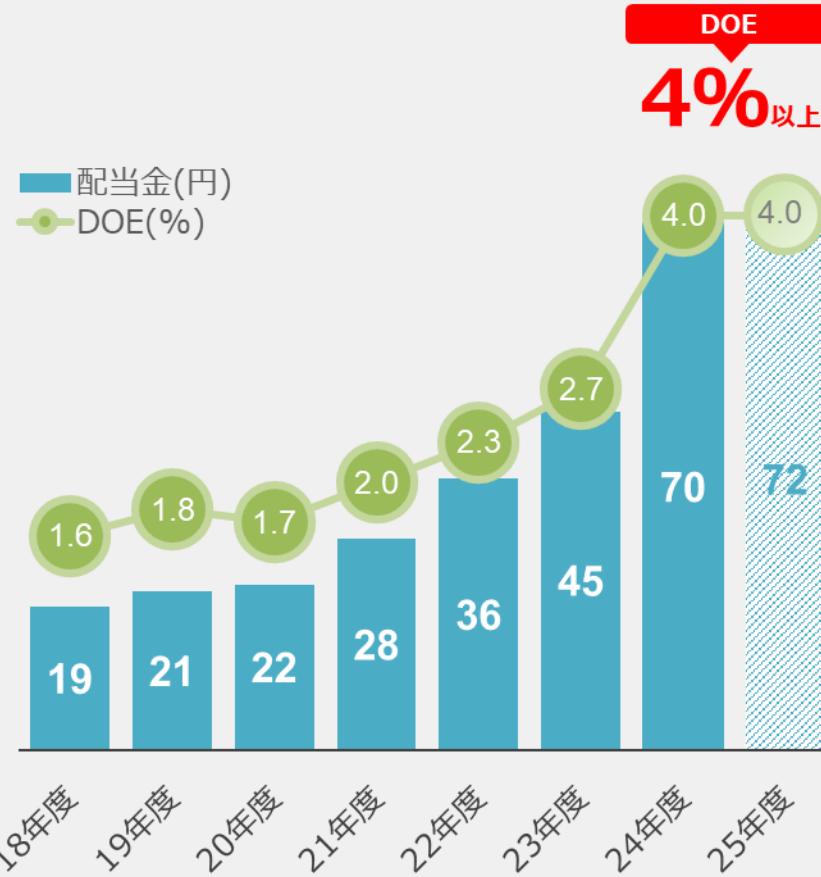
- 1 配当のKPIとしてDOEを採用し、
DOE4%以上とする

- 2 自己株式取得（計画）

24年度-26年度

400億円

- 2024年度 200億円（完了）
- 2025年度 100億円（完了）
- 2026年度 100億円（見込）



- 配当金は年間72円予想を据え置く（YoY+2円）
- 年間配当額は2010年度から16期連続増配予想
- 1,000万株/100億円を上限に、自己株式の取得は完了

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

**2025年度
本決算発表**

2026年5月13日を予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

以 上

**統合報告書2025年度版
を発行しました
こちら**

(単位：億円)

2023年度 2024年度 2025年度 2025年度 2025年度

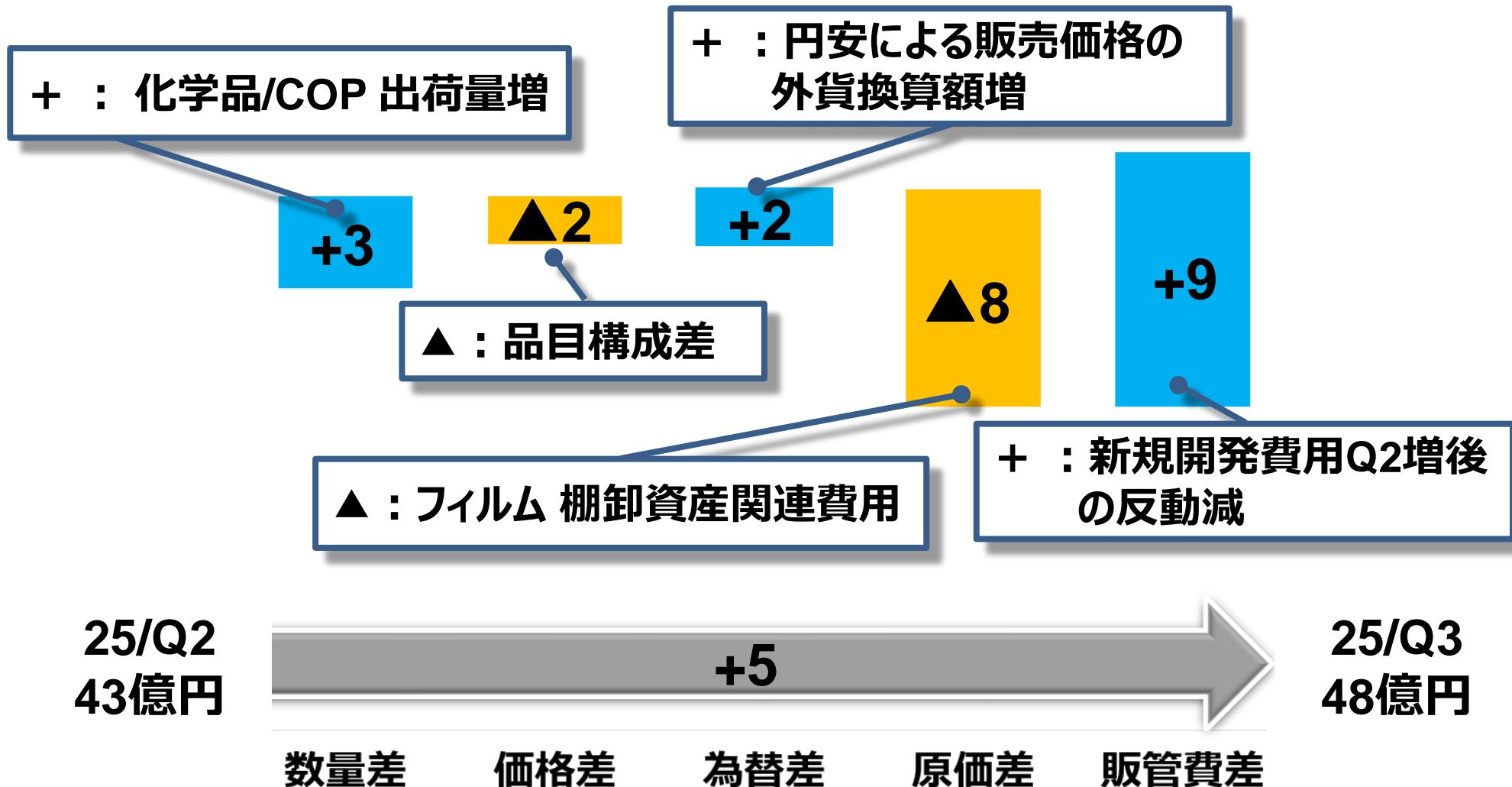
	Q1	Q2	Q3		
売上高	3,823	4,206	1,031	1,034	1,032
高機能材料事業	1,074	1,216	293	330	315
高機能樹脂	642	793	197	231	213
高機能バインダー材料	234	225	53	63	58
高機能ケミカル	156	158	33	32	37
メディカル他	43	39	10	4	7
エラストマー素材事業	2,153	2,366	581	545	554
合成ゴム	1,642	1,769	445	424	431
ラテックス	109	142	35	27	24
化成品	350	403	90	86	87
その他・消去	52	52	12	8	12
その他の事業、消去等	596	625	157	159	163

2023年度 2024年度 2025年度 2025年度 2025年度

	Q1	Q2	Q3		
営業利益	205	293	121	72	82
高機能材料事業	132	176	74	43	48
高機能樹脂	73	139	55	39	37
高機能バインダー材料	44	22	10	12	8
高機能ケミカル	21	19	8	▲ 1	7
メディカル他	▲ 5	▲ 4	1	▲ 6	▲ 4
エラストマー素材事業	66	109	42	23	29

その他の事業、消去等	6	8	5	6	5
-------------------	----------	----------	----------	----------	----------

(単位：億円)



(単位：億円)

- + : 電池材料 出荷量増
- + : 光学フィルム 出荷量増
- ▲ : COP 出荷量減

入り組み

+20

▲35

- ▲ : 電池材料 品目構成差

- ▲ : 円高による販売価格の外貨換算額減

+5

- + : コストダウン
- ▲ : 人件費等上昇

+33

- + : 原料価格下落
- ： 製造固定費単価良化

24Q3累計
145億円

+21

25Q3累計
166億円

数量差

価格差

為替差

原価差

販管費差

エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (QoQ) ZEON

(単位：億円)

▲：化成品 出荷量減

+ : 原料価格下落

▲ : 原料価格に応じた
販売価格下落

+16

▲3

▲ : ゴム
新規開発費用増

▲15

+9

+ : 円安による販売価格の
外貨換算額増

25/Q2
23億円

+7

25/Q3
29億円

数量差

価格差

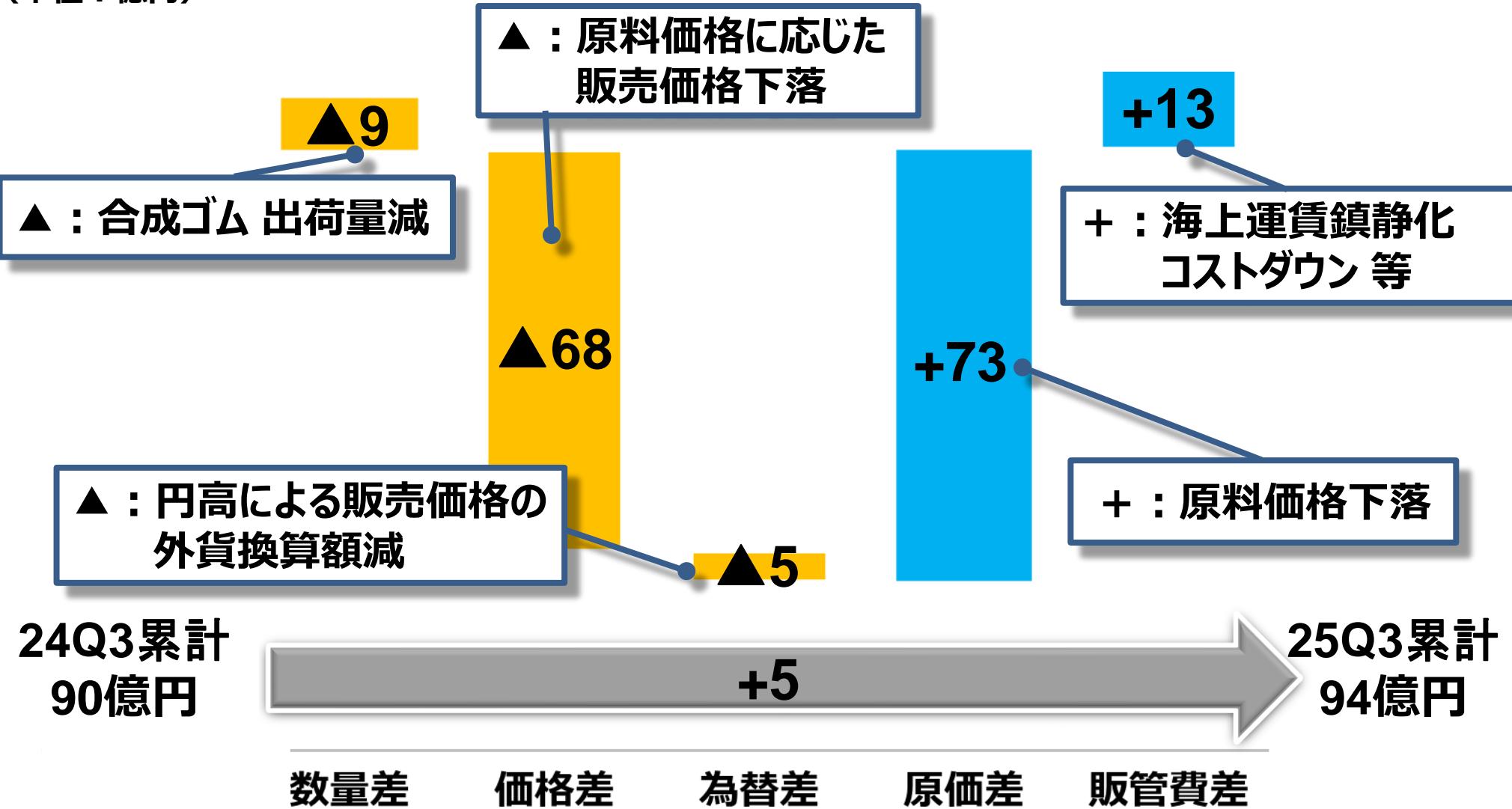
為替差

原価差

販管費差

エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)



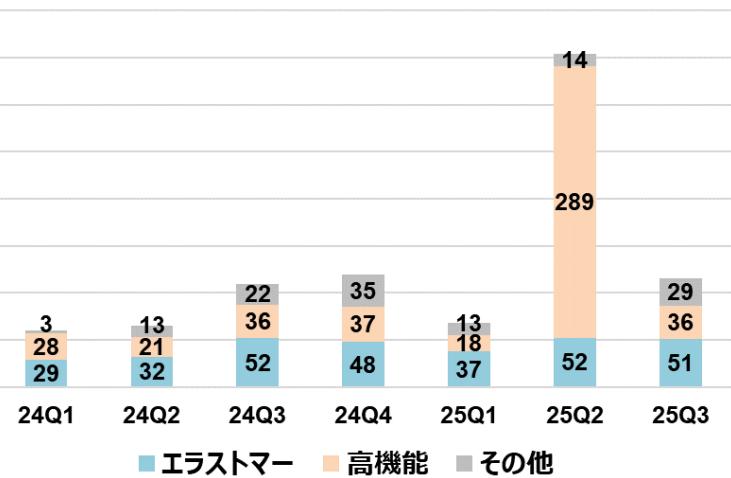
(単位：億円)

【営業外損益】	2024年度 Q3累計	2025年度 Q3累計	YoY 増減
受取利息・配当金	24	27	+3
為替差損益	13	14	+1
休止資産固定費	▲ 3	▲ 5	▲2
貸倒引当金繰入額	▲ 5	▲ 5	-
寄付金	▲ 3	▲ 1	+2
支払利息	▲ 1	▲ 1	-
その他	8	▲ 5	▲12
営業外損益合計	32	24	▲8

【特別損益】	2024年度 Q3累計	2025年度 Q3累計	YoY 増減
投資有価証券売却損益	54	169	+115
固定資産処分損	▲ 6	▲ 5	+1
投資有価証券評価損	▲ 9	▲ 22	▲12
減損損失	▲ 39	▲ 27	+11
その他	▲ 2	▲ 7	▲5
特別損益合計	▲ 3	108	+110

(単位：億円)

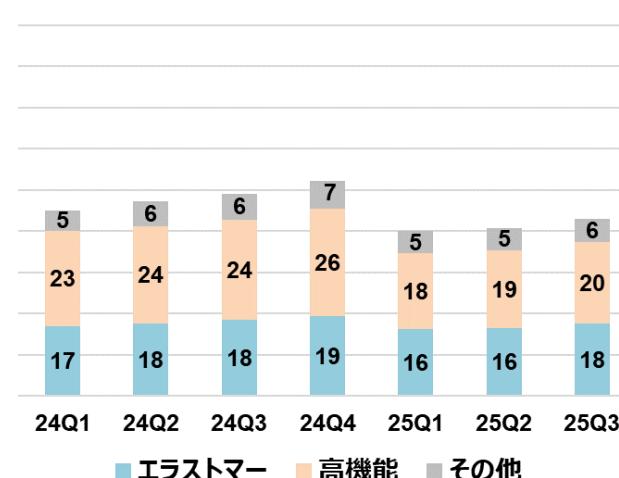
【資本的支出】



24年度実績
355億円

25年度予想
800億円

【減価償却費】



24年度実績
194億円

25年度予想
170億円

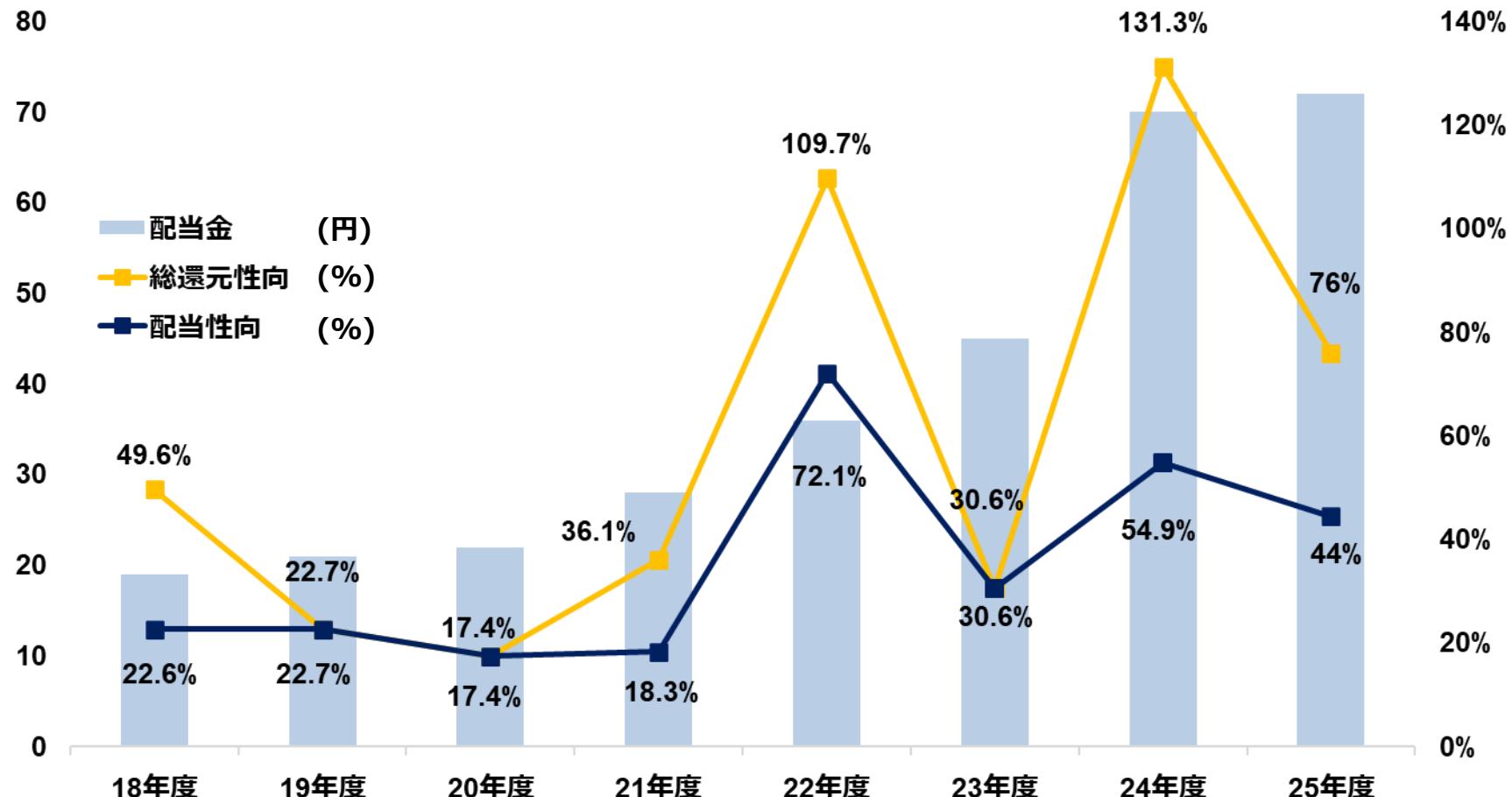
【研究開発費】

24年度実績
182億円

25年度予想
170億円

(単位：円)

(単位：%)



■配当利回りは3.80%（2025年1月28日終値ベース）

アップサイド

エンドマーケット需要回復の早期化

為替の円安化

市況回復の早期化

円安ドル高

景気回復

円安ユーロ高

ダウンサイド

エンドマーケット需要低迷の長期化

為替の円高化

市況回復の長期化

円高ドル安

景気悪化

円高ユーロ安